

宮城県七ヶ浜町 「七ヶ浜町水産振興センター」竣工式開催について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第4次助成先の一つである宮城県漁業協同組合（以下、宮城県漁協）では、かねてより建設中の「七ヶ浜町水産振興センター」完成に伴い、竣工式を10月19日（土）午前11時より執り行います。

海岸沿いに七つの集落があったことから名づけられたという七ヶ浜町は、仙台から東に約20kmの宮城県中部に位置し、南は太平洋、東と北は松島湾と三方を海に囲まれ、起伏に富んだ景観や穏やかな気候にも恵まれた地域です。日本三景・松島の一角を成し、海水浴場やサーフスポットとしても広く知られています。

宮城県で唯一、ノリ種苗の生産を行ってきた七ヶ浜町の水産振興センターは、国内生産の最北端ノリ生産地として『みちのく寒流のり』のブランド力を高めるべく、種苗生産に取り組み、またマコガレイの種苗生産およびヒラメやホシガレイなどの中間育成、放流事業を行っていました。しかし、東日本大震災の津波により流失、全ての事業はストップし、養殖業を営む生産者、漁業者は大きな被害を受けています。

宮城県漁業協同組合は、地域の養殖、漁業再建に不可欠な、『ノリの種苗生産・品質改良』『魚類・貝類種苗の中間育成』などの機能を有する水産振興センターを、避難施設を備えた3階建てで再建することを計画し、本助成に申請しました。

ヤマト福祉財団では、七ヶ浜町の漁業振興を早期に改善するため、復興のカギともいえる七ヶ浜町水産振興センターの再建費用として総額5億7000万円の助成を平成24年2月に決定しました。

今春、3月4日に起工式が行われ、この度の竣工式を迎えました。



（完成予想図）



（嵩上げ、整備された建設予定地）



（3月4日に行われた起工式）

宮城県、東北の復興は途上にあります。震災による被害を乗り越え、いち早く復旧・復興に取り組む本式典を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

宮城県漁業協同組合

担当：阿部・菅原（0225-21-5732）

公益財団法人 ヤマト福祉財団

担当：早川・渡辺（03-3248-0691）

「七ヶ浜町水産振興センター」竣工式

1. 日時 平成25年10月19日（土） 午前11時開始
2. 場所 「七ヶ浜町水産振興センター」建設予定地
住所 宮城県七ヶ浜町花淵浜字館下75-11
3. 主な出席者（敬称略）
 - （1）宮城県漁業協同組合 経営管理委員会会長 菊地 伸悦
 - （2）宮城県漁業協同組合 代表理事理事長 阿部 力太郎
 - （3）宮城県漁業協同組合 七ヶ浜町水産振興センター運営協議会会長 斎藤 吉勝
 - （4）宮城県 農林水産部次長 長田 穰
 - （5）七ヶ浜町 町長 渡邊 善夫
 - （6）七ヶ浜町議会 議長 佐藤 梶信
 - （7）公益財団法人ヤマト福祉財団 理事長 有富 慶二
4. 建物概要
鉄筋コンクリート造、地上3階建て
敷地面積 (3,162㎡)
延べ床面積 (1,842㎡)

施設概要

作業管理棟

3階 会議室 兼 避難所

2階 施設管理事務所

1階 作業・実験所

ノリ種苗（糸状体）培養棟

栽培種苗生産棟

資材・機材保管庫

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。平成24年6月30日をもって募金と助成の募集は終了させていただきました。募金につきましては、142億円3608万1360円となったヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまわり、総額142億8448万751円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に国の補助のつきにくい事業や単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指して、第5次までに助成対象31件に対し、総額142億6600万円の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ（<http://www.yamato-fukushi.jp/>）をご参照ください。